

キヤノンソフトが、アマゾン ウェブ サービス® 上で動く クラウドアプリケーション開発基盤「Web Aviator」を発売

キヤノンMJ ITグループのキヤノンソフトウェア株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：加藤 高裕、以下キヤノンソフト）は、「クラウド上のWebアプリケーションをクラウドで開発」というコンセプトの下、米アマゾン ウェブ サービス社が提供するクラウド環境上で稼働するクラウドアプリケーション開発基盤「Web Aviator（ウェブアビエーター）」を、大手・中堅企業のIT部門やSIベンダーなどを対象に12月7日より提供開始します。



キヤノンソフトは2005年からWebアプリケーション100%自動生成ツール「Web Performer（ウェブパフォーマー）」を市場に提供し、オンプレミスでの「開發生産性向上」と言うテーマに対し取り組んできました。今後市場の拡大が予想されるクラウドアプリケーションの開発現場でも活用できるよう、「Web Performer」で培った経験を元に「Web Aviator」を開発しました。これにより、ユーザー企業に「開發生産性の向上」を提供しようというものです。

「Web Aviator」は、アマゾン ウェブ サービス（以下、AWS）のAmazon Elastic Compute Cloud（Amazon EC2®）とAmazon Relational Database Service（Amazon RDS）上で稼働するエンタープライズ向けのクラウドアプリケーションを簡単にすばやく構築できる開発基盤です。必要な時に必要なだけすぐにインフラストラクチャ・リソースを使用できるセキュアなAWSのクラウド上で動作します。「Web Aviator」に必要な環境はWebブラウザのみで、直観的に操作できる開発エディタを提供するため開發生産性の向上を実現します。開発・検証が終了した後は、AWS上の本番環境へワンクリックで配備するのみで、ユーザーがエンタープライズ向けのクラウドアプリケーションを使用することが可能になるため、ユーザー企業のビジネスの俊敏性を強力に支援します。

マルチブラウザ環境に対応したクラウドアプリケーションが開発でき、PCブラウザ用は勿論、ス

- 報道関係者のお問い合わせ先 ： キヤノンソフトウェア株式会社 広報課 03-6701-3515
- 製品の詳細についてのお問い合わせ先 ： キヤノンソフトウェア株式会社 新規事業推進室 03-6701-3513
- Web Aviator ホームページ ： http://www.canon-soft.co.jp/product/web_aviator

スマートフォンブラウザ用Webアプリケーションも簡単に作成することができます。

「Web Aviator」には2つのライセンス形態があり、開発スタート時に必要なライセンス「Web Aviator S ライセンス」は無償で、開発が終了し検証・本番移行時に必要になるフルライセンスとなる「Web Aviator F ライセンス」は50ユーザーから、72万円/年間となります。開発のみであれば無償のため、初期投資コストを抑えることができます。

キャノンソフトは、「Web Aviator」を大手・中堅企業のIT部門やSIベンダーなどを対象に2014年までに売上10億円を目指します。

製品名	価格（税別）	発売日	備考
Web Aviator S ライセンス	無償	2011年12月7日	開発・テスト用 ライセンス
Web Aviator F ライセンス (50ユーザー～)	72万円/年～	2011年12月7日	開発・テスト・本番 用ライセンス

<Web Aviator の主な特長>

1. 飛躍的な開発生産性の向上

- ・画面レイアウト、業務ロジック、データアクセスという3つの要素をWebブラウザから定義するだけでWebアプリケーションを開発できます。コンパイルは不要です。
- ・基本操作はマウスによるポイント&クリックなどの直感的なGUI操作とSQL、JavaScriptといった基本知識のみで定義できます。

2. すばやく簡単な環境構築

- ・AWS上のキャノンソフトオリジナル仮想マシンイメージ「Web Aviator AMI」をお客様のAWS上に簡単構築。僅か数分で環境が構築できます。
- ※ お客様がAWSアカウントを設定しており、「Web Aviator」のライセンスを事前に取得されていることが前提です

3. ツール代0円で開発コスト削減

- ・Web Aviator 開発時に活用していただく「S ライセンス」は無償です。これにより開発コストを限りなく抑えることができます。